

## 設 立 趣 意 書

日本のIT企業は潜在的優位性を持っている。特に携帯電話については世界でも例をみない高度なサービスが実用化され、世界が日本市場をベンチマークとしている。またインターネットに関しても、インターネット普及率、ブロードバンド普及率ともに、世界のトップレベルである。さらに、コンテンツやネットサービスにおいても、米国に次ぐ、また種類によっては米国に勝るIT大国である。

しかしながら、世界的に見た日本のIT企業のプレゼンスは低い。PCにおける世界シェアで唯一5位に一社がランクイン。携帯電話機においては一社もなし。コンテンツ業界においては、米国の多くの企業が世界的に事業展開しているのに対し、日本企業で世界的プレゼンスのある企業はゼロ。

なぜこんなことが起こるのか。なぜ世界に出て行けないのか。なぜ日本国内の知見、経験を世界に持ち込めないのか。

さまざまな原因が想定される。そのひとつに「ガラパゴス論」というものがある。つまり日本だけの特異な進化を遂げすぎ、世界で通用しないというもの。しかし、特異であるということはそれだけ差別化ができるということであり、見方によっては強みであるともいえる。

原因には、そもそも日本の社会・経済体制の持つ特徴、企業経営の課題、過去の歴史など、複雑な要素が想定され、それらの課題を冷静に分析することによってのみ解決法が探し出されると考える。唯一分かっていることは、これまでと同じやり方では国際競争力は強化されないということだ。

本研究会では、日本のIT企業の国際競争力の強化のために何が必要か、何を変えなければいけないのかを探求し、具体的な施策案として、政府、企業に提案していく。

委員長 夏野 剛

\*：本研究会の俗称を「超ガラパゴス研究会」とする。

【本件の連絡窓口：BA事務局長 飯野嘉郎】

## IT国際競争力研究会メンバー

委員等	氏名	記事
委員長	夏野 剛	慶應義塾大学
副委員長	芦辺洋司	(株)日立コンサルティング
幹事	渡邊 聡	プロレクス株式会社
委員	青山友紀	慶應義塾大学
委員	石橋 聡	日本電信電話(株)
委員	乾 牧夫	UBS証券会社
委員	猪子寿之	チームラボ(株)
委員	大谷章夫	東京海上アセットマネジメント投信(株)
委員	忍足大介	JPMorgan・アセット・マネジメント(株)
委員	黒川 清	政策研究大学院大学
委員	佐藤文昭	メリルリンチ日本証券(株)
委員	椎木隆太	(株)DLE
委員	津坂徹郎	パークレイズ・キャピタル証券(株)
委員	西岡洋子	駒澤大学
委員	根本昌彦	未来戦略研究所
委員	間下直晃	(株)ブイキューブ
委員	松本徹三	ソフトバンクモバイル(株)
委員	村井 純	慶應義塾大学
委員	村上敬亮	経済産業省
委員	持田侑宏	フランステレコム(株)
委員	米川達也	NTTレゾナント(株)
事務局	飯野嘉郎	NPO法人ブロードバンド・アソシエーション

(平成21年4月10日現在)